RG79T516H03

MITSUBISHI ELECTRIC

三菱電機パッケージエアコン別売部品 リプレース異径ジョイント据付工事説明書

PAC-SH40RJ
PAC-SG72・73・74・75RJ

安全のために必ず守ること

●据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法・お手入れの仕方等を説明してください。
また、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

⚠警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
●お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・災等の原因になります。

据付工事は、冷媒R410AまたはR32用に製造された専用のツール・配管部材を使用し、この据付工事説明書に従って確実に行う。
●使用しているHFC系R410A冷媒またはR32冷媒は、従来の冷媒に比べ圧力が約1.6倍高くなります。専用の配管部材を使用しなかったり、据付けに不備があると破裂・けがの原因になり、また水漏れや感電・火災の原因になります。

小部屋に据付ける場合は万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策を行う。
●限界濃度を超えない対策については、販売店にご相談ください。
万一、冷媒が漏れて限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。

作業中に冷媒ガスが漏れた場合は、換気する。
●冷媒が火気に触れると、有害ガスが発生する原因になります。

冷媒配管は、JIS H 3300「銅および銅合金継目無管」のC1220のりん脱酸銅を、配管継手は、JIS B 8607に適合したものを使用し、配管接続を確実に行う。
●配管接続に不備があると、アース接続が不十分となり感電の原因になります。

据付けや移設などの場合は、冷媒サイクル内に指定冷媒以外のものを混入させない。
●空気などが混入すると、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂などの原因になります。
●指定冷媒以外を封入すると、機械的不具合・誤作動・故障の原因となり、場合によっては安全性確保に重大な障害をもたらすおそれがあります。

改造は絶対にしない。
●修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。改造したり修理に不備があると水漏れや感電・火災等の原因になります。

お客様自身で移動・再据付けはしない。
●据付けに不備があると水漏れや感電・火災等の原因になります。お買い上げの販売店または専門業者にご依頼ください。

設置工事終了後、冷媒が漏れていないことを確認する。
●冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ・ストーブ・コンロなどの火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

据付けをする前に

⚠注意

特殊環境には使用しない。
●油(機械油を含む)、蒸気、硫化ガスなどの多い場所、海浜地区など塩分の多い場所、積雪により室外ユニットが塞がれるところに使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがある場所へは据付けない。
●万一ガスがユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になります。

据付け(移設)・工事をする前に

⚠注意

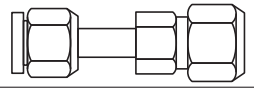
冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
●不完全な断熱施工を行うと配管等表面が結露して、露たれ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。
●接続部の断熱施工は、気密試験後に行ってください。

フレアナットは、トルクレンチで指定の方法で締め付けること。
●フレアナットの締め付け過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れ冷媒漏れの原因になります。

この別売部品を取付ける前に、必ず室外ユニット付属の据付工事説明書 安全のために必ず守ること を確認し、その指示に従ってください。

この箱の中には、この説明書のほかに下記の部品が入っていますのでご確認ください。

リプレース異径ジョイント
PAC-SG72RJ(ユニット側 ： φ 6.35 ― 現地配管側 ： φ 9.52)
PAC-SG73RJ(ユニット側 ： φ 9.52 ― 現地配管側 ： φ12.70)
PAC-SG74RJ(ユニット側 ： φ12.70 ― 現地配管側 ： φ15.88)
PAC-SG75RJ(ユニット側 ： φ15.88 ― 現地配管側 ： φ19.05)
PAC-SH40RJ(ユニット側 ： φ15.88 ― 現地配管側 ： φ12.70)

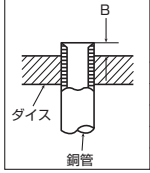


取付要領(下記の説明をよく読んで組み込んでください)

この別売部品は、異なるサイズの現地配管と、室内外ユニットを接続するための部品です。
※**この別売部品を取付ける際には、必ず室外ユニット付属の据付工事説明書「・冷媒配管の接続」項に従ってください。**

1)現地配管は、右記表に従いR410A・R32対応のフレア加工を新たに行ってください。
その際、フレアナットは本別売付属品を使用してください。
※現地(既設)配管の流用可否については、室外ユニット付属の据付工事説明書に従ってください。
※**φ19.05配管を利用する場合には必ず室外ユニット制御基板上のSW8-1をONにしてください。**

銅管外径(mm)	フレア部加工寸法φA(mm)	フレア形状
φ6.35	8.7～9.1	45°±2° 90°±0.5° φA R0.4～R0.8
φ9.52	12.8～13.2	
φ12.70	16.2～16.6	
φ15.88	19.3～19.7	
φ19.05	23.6～24.0	

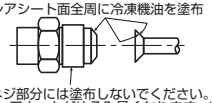


パイプ径(mm)	B寸法(mm)	
	R410A・R32フレアツール	R22・R407Cフレアツール
	クラッチ式	
φ 6.35(1/4")	0～0.5	1.0～1.5
φ 9.52(3/8")	0～0.5	1.0～1.5
φ12.70(1/2")	0～0.5	1.0～1.5
φ15.88(5/8")	0～0.5	1.0～1.5
φ19.05(3/4")	0～0.5	1.0～1.5

※従来のツールを使って冷媒R410A用またはR32用のフレア加工をする場合は、上表を参考に加工してください。
出し代調整用の銅管ゲージを使用すれば、B寸法が確保できます。

2)別売部品から異物混入防止キャップ(両端)を取外し、
フレアシート面に冷凍機油(現地手配)を薄く塗布してください。

冷凍機油　塗布位置



※ネジ部分には塗布しないでください。
(フレアナットがゆるみ易くなります。)

3)フレアナットの締付は、右記表に従いトルクレンチにて
確実に行ってください。

〈トルクレンチによる適正な締付トルク〉

銅管外径(mm)	締付トルクN・m(kgf・cm)
φ6.35	14～18(140～180)
φ9.52	34～42(340～420)
φ12.70	49～61(490～610)
φ15.88	68～82(680～820)
φ19.05	100～120(1000～1200)

4)冷媒配管接続後に、必ず現地接続配管(本別売部品含む)と室内・室外ユニットのガス漏れ検査を
行ってください。

5)本別売部品は断熱が必要です。(露たれ防止)現地配管と同様に断熱材(現地手配)を巻き付けてください。

6)ユニットの据付工事説明書に従って試運転を行い、運転チェックを必ず実施してください。

三菱電機株式会社 静岡製作所 〒422-8528 静岡市駿河区小鹿 3-18-1 ☎(054)285-1111(代表)